

令和4年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

教育政策課

1 施設の概要等

施設名	府中市歴史民俗資料館		
所在地	府中市土生町882-2		
設置目的	歴史資料等の収集、保管、展示、調査及び研究等の事業を行い、文化財の保護と活用を図る。歴史民俗資料館は、備後国跡を中心とした府中地域に関する文化財の保護・普及を図るとともに、旧芦品郡役所庁舎である資料館建物の保存・活用を主たる目的とする。		
施設・設備	本館(市指定旧芦品郡役所庁舎利用)、管理棟		
指定管理者	R4.4.1	～	R6.3.31 一般財団法人府中市まちづくり振興公社

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)	
	R4	1,000 人	1,329 人	703 人	329 人	133 %
R5	1,500 人					
R6						
R7						
R8				-		

増減理由 ○コロナ前は年間3000～3500人ほどの入館者があった。令和2年度からのコロナ禍により利用者が減少したが、コロナ対応しながらもイベントを実施できるようになり、利用者数が回復してきている。
(館外活動参加者の人数は含んでいない)

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	【実施方法】	【対象・人数】
	施設利用アンケート実施	個人30件
	【主な意見】	【その対応状況】
	ゆっくり見学するためには空調設備(エアコン等)が必要	団体利用の際は、あらかじめ冷風機等を用意するなどの配慮を実施。

4 市の業務点検等の状況

項目		実績	備考
報告書	年度	○	事業報告書
	月報	○	業務日誌
	日報(必要随時)	○	その他(破損報告、分布調査・資料調査報告等)
管理運営会議		【特記事項等】	
1 回 会場 教育委員会		・歴史資料館運営審議会を開催し、現状や課題の報告に対する意見交換協議等を実施した。	
現地調査 (実施月)		【指定管理者の意見】	
1月 2月 3月 4月 5月		・現地での意見交換が重要。引き続き実施する。	
○	○	○	○
【市の対応】		・施設の現状(不具合等)の確認(随時)	
6月 7月 8月 9月 10月	・事業等の確認・提案等(随時)		
○	○	○	○
11月 12月		・管理棟の清掃	
○			

5 市委託料の状況

(単位:千円)

市委託料 (決算額)	年度	金額	対前年度増減	料金収入 (決算額)	年度	金額	対前年度増減
	R4	5,605	116		R4	0	
R5			R5				
R6			R6				
R7			R7				
R8		-	R8	-			

6 管理経費の状況

(単位:千円)

項目		R3決算額	R4決算額	対前年度比	主な増減理由等
委託事業	収入				
	市委託料	5,489	5,605	116	賃金増加分等
	料金収入			0	
	その他収入		152	152	缶バッジ売り上げ・補助金
	計(A)	5,489	5,757	268	
	支出				
	人件費	4,122	3,423	-699	職員休職、臨時職員賃金減
	光熱水費	177	240	63	電気代の高騰分
	設備等保守点検費	103	103	0	
	清掃・警備費等			0	
	施設維持修繕費	0	33	33	ブロック塀補修による増額
	事務局費	224	161	-63	コピー機リース料の減額による
	その他支出	236	510	274	
	計(B)	4,862	4,470	-392	
収支①(A-B)	627	1,287	660		
自主事業					
収入(C)			0		
支出(D)			0		
収支②(C-D)	0	0	0		
合計収支(①+②)	627	1,287	660		

※1 利用料金制

公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。

指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業

指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

7 管理運営状況

項目	指定管理者	市の評価
総括	<p>○施設の維持管理について、管理者として、少しでも劣化の進行を遅らせるための対策として、現状でできる限りのことを実施した。</p> <p>○見学者の7割から8割が、市外・県外から訪れてくださる人であり、“府中の顔”として府中市の印象を良いものにするべく接客することを心掛けた。</p> <p>○学校や公民館等の館外活動を積極的に実施した。</p>	<p>○施設の維持管理について、本館については市指定の文化財建造物であることから、その価値の保存について留意し、所有者である市と連携をもって行われている。</p> <p>○国史跡備後国府跡や郡役所庁舎建物施設といった特性を中心とした展示や企画を通し、市域や市域外からの来訪者のニーズに合わせた対応が行われた。</p> <p>○市域の学校・公民館等のほか市外諸地域に出向いての講演等普及活動が行われた。展示あるいは普及活動調査や資料作成等における研究成果の蓄積が絶えず行われており、市教委文化財室の業務にも大きく反映されている。</p>

8 今後の方向性(課題と対応)

項目	指定管理者	市
課題と対応	<p>○資料館の業務は資料の収集・整理・活用(展示)であり、これらをバランス良く進める必要がある。</p> <p>○引き続き見学者への対応を丁寧に行う必要がある。</p> <p>○引き続き館外活動(出前授業・町内会主催の歴史講座・いきいきサロン・歴史巡りウォーキング等々)も積極的に行う必要がある。</p> <p>○建物の保存(修繕等)について、計画的に実施する必要がある。</p>	<p>○新たな観点や手法による情報発信と利用者数増加への取組</p> <p>○施設整備の計画的な実施</p> <p>○継続的な地域協力や連携と施設利用の促進</p> <p>○資料館活動の根幹業務の継続</p>